

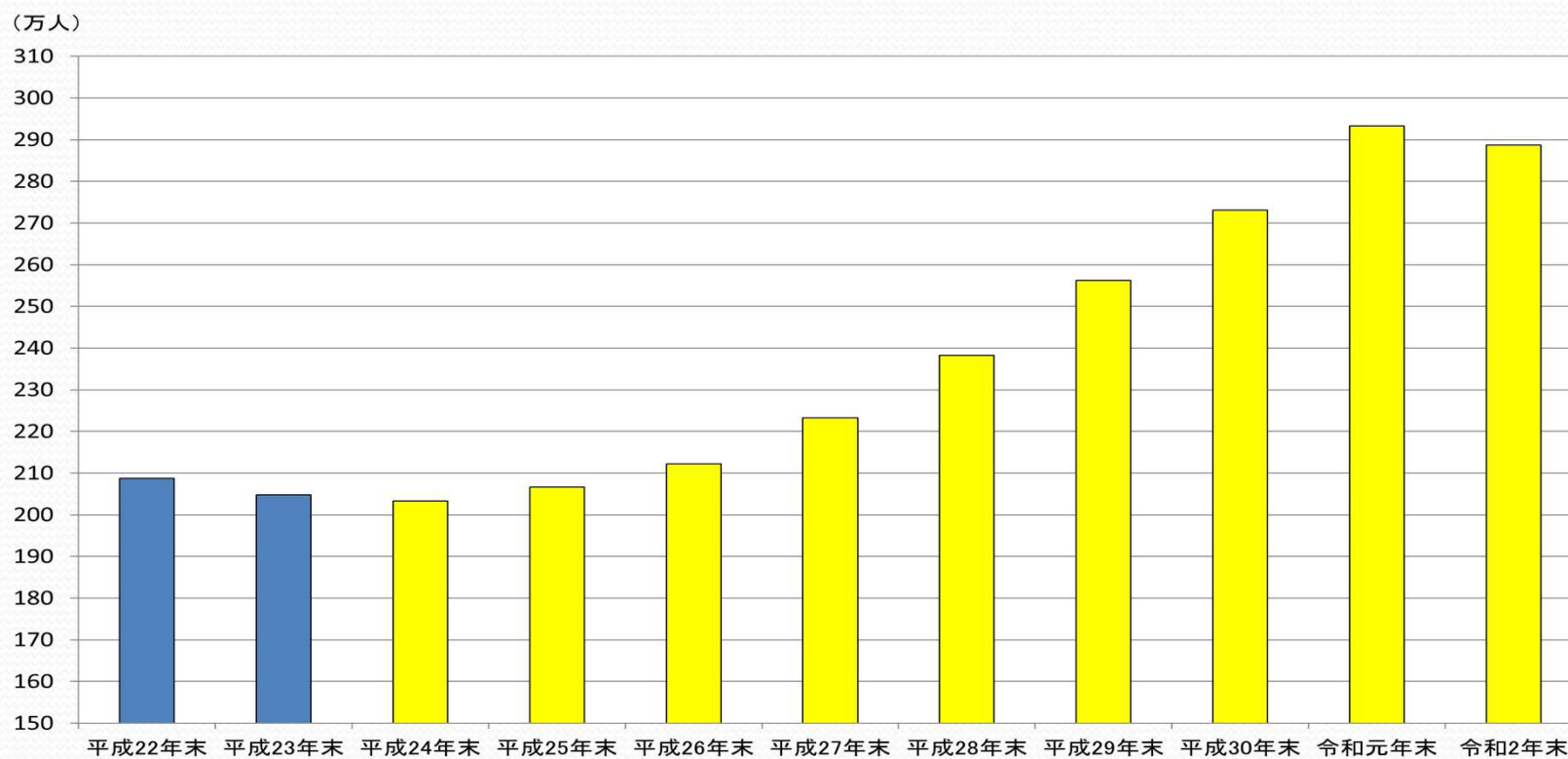
# 青少年と多文化共生

青少年理解の基礎研修  
第3回

# 現在の在日外国人数

国籍	人数
	778, 112
	448, 053
	426, 908
	279, 660
	208, 538
	95, 982
	66, 832
総数	

# 在日外国人数の推移



# 都道府県別

- 東京都 **560,180**人 (19.4%)
- 愛知県 **273,784**人 ( 9.5%)
- 大阪府 **253,814**人 ( 8.8%)
- 神奈川 **232,321**人 ( 8.0%)
- 埼玉県 **198,235**人 ( 6.9%)
- 千葉県 **169,833**人 ( 5.9%)

横浜市に  
おける  
外国人人数

令和3年6月末現在

横浜市	100,828
鶴見区	13,596
神奈川区	7,264
西区	4,588
中区	15,942
南区	10,489
港南区	2,863
保土ヶ谷区	5,457
旭区	3,261
磯子区	4,965
金沢区	3,324
港北区	6,835
緑区	4,354
青葉区	4,409
都筑区	3,489
戸塚区	4,374
栄区	1,200
泉区	2,427
瀬谷区	1,991

# 横浜市における外国籍及び外国につながる児童生徒

		2015	2016	2017	2018	2019
外国籍及び外国につながる		8,034	8,423	9,129	9,713	10,103
国別	外国籍	2,601	2,856	3,111	3,415	3,658
	中国（台湾含む）	1,115	1,323	1,519	1,801	2,039
	フィリピン	354	388	391	408	376
	韓国・朝鮮	256	254	249	255	245
	ベトナム	232	229	236	229	237
	ブラジル	155	160	161	141	143
	ペルー	122	108	97	90	87
	ネパール	13	22	37	50	49
	タイ	35	40	37	44	45
	外国につながる	5,433	5,567	6,018	6,298	6,445
日本語指導が必要		1,538	1,670	2,080	2,320	2,705

# いちよう団地



# 場所







横浜側48棟2,238戸、大和側31棟1,394戸  
最寄り駅 高座渋谷駅



中国やベトナム、カンボジアなどの物産店  
やレストランがいくつかあります。

バイク進入禁止 …… 日本語

⚠️! …… カンボジア語

Cấm xe gắn máy vào! …… ベトナム語

禁止摩托进入 …… 中国語

Prohibido entrar en moto. …… フランス語

Do not enter by motorcycle. …… 英語

看板やゴミステーションの表示も多言語のものが多くあります。

## 特徴

- 1970年代に建てられた県営住宅
- 外国籍の世帯比 20%以上
- 外国籍の人口比 30%以上
- 中国人、ベトナム人、カンボジア人などアジアの国をルーツに持つ住民が多い
- 日本人住民の少子高齢化



# 多文化まちづくり工房の活動

## 活動開始からいちよう団地での活動まで

- 1994年、中国帰国者の支援活動団体に所属する大学生数人で日本語教室開始
- いちよう団地に近い上飯田団地の中国帰国者から親族が10人以上来日するという相談があり、どうせなら個別ではなく集会所で教室を開こうとなったことからスタート
- 活動を続ける中で、徐々にいちよう団地の存在に気がつき、1997年頃からいちよう団地の集会所へ移動
- その後、自治会、学校、区役所などとの話し合いを経て、現在の旧いちよう小学校内に移動

# 映像資料

- 特報首都圏  
“多国籍”いちょう団地のいま～横浜・共生への20年  
(2014年4月25日放送)



# 日本語学習サポート



# 活動の内容

- 毎週水・土 19:00～20:30 (学習者10～15名)
- 毎週火・金 9:30～11:30 (学習者5名程度)
- 隔週水 9:30～11:30 (学習者2, 3名)
  
- 学習者 中学生～50代 中国・ベトナム・カンボジア中心
- サポーター 大学生・社会人・定年退職者・主婦など
  
- マンツーマン形式
- 学習者もサポーターもボランティアでの参加

# 日本語教室の様子(2021年)



# 日本語教室の様子(2009年)



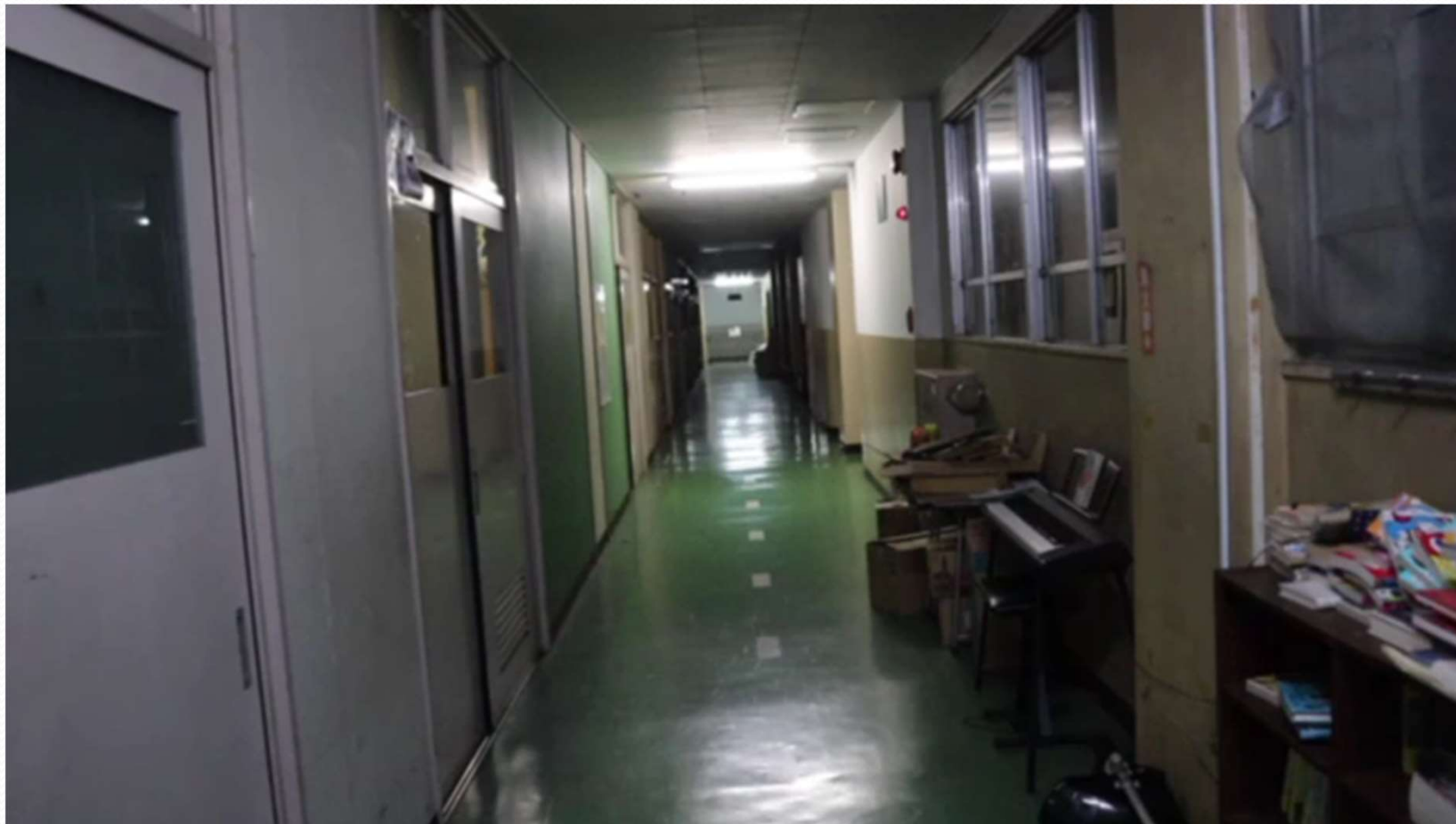


# こどもサポート

# 活動の内容

- 毎週火・金 15:30～17:30 (小学生15名程度)
- 毎週火・金 19:00～21:00 (中高生10名程度)
  
- 学習者 小学生～高校生
- サポーター 大学生・社会人中心
  
- 学校の授業では理解できない内容の補習
- 子供同士のコミュニケーションの場
- 上の世代との交流の場
- 学習の場であり、居場所でもある

# 学習教室の様子





# 多文化交流活動

# カンボジアダンス教室







# 生活情報サポート



# 多文化サッカー



# いちよう団地祭り



# 多文化共生交流会



DANTI HERO



## 外国につながる青少年の現状

# 日本語習得

- 当初から感じていた課題
  - 生活言語と学習言語の差
  - 家庭環境から得られる日本語や日本についての知識が不足しやすい
- この20年間での変化
  - 活字との接点の不足
  - インターネットの普及
  - テレビの衰退
  - 学校でのサポート体制の充実

# 学力

- 当初から感じていた課題
  - 日本語力、言語力に起因する学習の難しさ
  - 日本生まれ、幼少期来日した子たちの課題
- 20年間での変化
  - 経済力の向上、教育制度変更による進路選択の多様化
    - 在県外国人特別募集の充実
    - 授業料無償化による私立高校選択、昼間定時制の充実
    - 大学、専門学校への進学率の向上
  - 日本生まれの子供の増加
    - 学力の二分化
    - 学齢期来日の子供との関係



# 親子

- 当初から感じていた課題
  - 親の日本語力と子供の母語力との乖離
  - 親子間コミュニケーションの減少
  - 親子関係の逆転
- 20年間での変化
  - 仕事の増加
  - 同国人コミュニティの確立
  - 家庭環境の複雑化

# 居場所

- 大人や年上の人が出て、いろいろな相談ができる
- 本来の自分を出すことができる
- 母語を話すことができる
- 親の目から自由になれる